

神戸大学校友会ニュースレター

いつも校友会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

— インフォメーション —

【1】トピックス

- (1) 第18回神戸大学ホームカミングデイを開催
- (2) 神戸大学広報誌『風』 Vol.22 を発行
- (3) 神戸大学校友会デトロイト支部からのご報告
- (4) 「2024 年神戸大学基金フェローと学長との懇談会」を東京・神戸で開催

【2】お知らせ

- (1) 2024 年版「神戸大学環境報告書」を公表
- (2) 都市安全研究センターのオープンゼミナール 震災 30 年特集がスタート
- (3) パリ第2（パンテオン・アサス）大学から訪問
- (4) SDGs 未来ビジネス学生コンテスト 2024 開催報告

【3】研究ニュース

- (1) “天然基質”の化学合成法を武器に、リグノセルロース分解酵素の“本質”に迫る
- (2) 妊婦健診で多くの妊娠糖尿病が見落とされている危険性を指摘
- (3) ネオセルフ抗体が原因不明の不育症の治療に新たな可能性をもたらす
- (4) 光合成微生物の力でサステナブルな細胞培養を実現

【4】インタビュー

- (1) 初の国際大会 つかんだクラス準優勝
- (2) 伝統芸能の道を歩み、部の伝統を守る
- (3) 社会人としての基盤をつくった学生生活
- (4) ワールドマスターズゲームズ関西大会へ強い思い

【5】フィーチャー

- (1) 神戸から科学を支える人材をー未来の研究者を育てるー
- (2) 超伝導から水素へー研究をつないで未来をつくるー

【6】イベント等情報

(1) イベント情報

【1】トピックス

(1) 第18回神戸大学ホームカミングデイを開催

10月26日（土）に第18回神戸大学ホームカミングデイを開催します。

卒業生の登壇する全学式典やランチパーティー、学部企画、展示会など盛りだくさんの企画をご用意しています。懐かしさと共に、「神戸大学の今」を感じに来ませんか？

10月18日（金）を締め切りとしております。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.hcd.ofc.kobe-u.ac.jp/>)

(2) 神戸大学広報誌『風』 Vol.22 を発行

神戸大学広報誌『風』 Vol.22 を発行しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241001-66086/>)

(3) 神戸大学校友会デトロイト支部からのご報告

日時：2024 年 9 月 22 日（日）

場所：Beverly Hills, Michigan

2024 年 2 月、4 月の開催に続き、今年に入り 3 回目の同窓会は屋外での BBQ ということもあり、家族参加ありの形式をとり、神戸大卒業生 5 名およびそのご家族 7 名の総勢 12 名での開催となりました。

今年のミシガンは例年と比較して暖かく、当日の天気は曇りではあったものの、日中は 20°C を超す気温で屋外開催には丁度よい気候での開催となりました。

家族参加形式のため、初対面の組み合わせも多くあり、経歴や現状などの自己紹介を通じながら、Michigan や日常の情報交換を行いながら、ランチを楽しみました。

次回は冬の開催を予定しております。

細々とですが、活動を行っておりますので、卒業生・現役生を問わず、ミシガン州を訪問される機会があれば歓迎いたしますので、ぜひ、ご連絡ください。



参加者（神戸大学卒業生）：

山田 守（1982 経営）

弘中 研（1995 経済）

横山 渉（1999 経営）

Hamed Torjani（2003 工・院）

宮脇 佑輔（2010 工）

(4) 「2024 年神戸大学基金フェローと学長との懇談会」を東京・神戸で開催

神戸大学基金に多額のご寄附を賜り「神戸大学基金フェロー」の称号をお贈りした皆様と学長との懇談会を開催しました。9 月 6 日に神戸大学東京六甲クラブにて開催した東京会場には 14 名、9 月 18 日に本学にて開催した神戸会場には 29 名の方にご参加いただきました。



東京会場



神戸会場

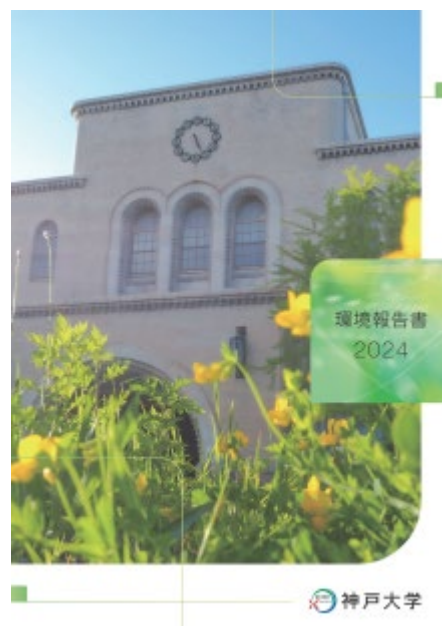
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240925-66009/>)

【2】お知らせ

(1) 2024 年版「神戸大学環境報告書」を公表

2024 年版的神戸大学環境報告書を公表しました。この環境報告書は、2023 年 4 月から 2024 年 3 月の神戸大学の環境に関する活動の成果を取りまとめたもので、本学の構成員である学生と教職員を対象に、学内および学外の環境コミュニケーションを促進することを目的として、本学で行った教育、研究およびトピックスを紹介するとともに、環境パフォーマンスとして、環境マネジメントを推進するための取り組み等を掲載しています。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240925-66010/>)

(2) 都市安全研究センターのオープンゼミナール 震災 30 年特集がスタート

神戸大学都市安全研究センターは 9 月 21 日、阪神・淡路大震災 30 年をテーマとするオープンゼミナールをハイブリッド形式で開催しました。防災や復興などをテーマとするゼミナールは今回で 298 回を数え、震災 30 年特集がスタート。「阪神・淡路大震災後の災害法制の 30 年と、これから」と題し、神戸大学社会システムイノベーションセンター副センター長の金子由芳教授が講演しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241001-66087/>)

(3) パリ第 2 (パンテオン・アサス) 大学から訪問

9 月 26 日、パンテオン・アサス大学の Marie-Hélène Monsérié-Bon (マリー＝エレーヌ・モンセリエ＝ボン) 副学長と Emmanuelle Chevreau (エマニュエル・シュヴロー) 国際交流担当副学長が、神戸大学の玉置久理事・国際連携推進機構長を訪問しました。

懇談には、神戸大学からは水畑穰神戸大学大学院工学研究科教授・国際連携推進機構ヨーロッパ・アフリカ部門長、関根由紀神戸大学大学院法学研究科教授、瀬戸口祐基神戸大学大学院法学研究科准教授が同席しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241002-66096/>)

(4) SDGs 未来ビジネス学生コンテスト 2024 開催報告

2030 年の SDGs 達成に向けた重要な一歩として、大阪・関西万博が 2025 年に開催されます。この大会に先駆けて、大学エコシステム・ひょうご SDGs オープンイノベーションが今年も学生たちによる SDGs ビジネスアイデアのコンテストを開催しました。

【企業課題部門】では、企業が提供した SDGs に関する課題に基づき、企業と学生が協力して新たなビジネスアイデアを創出しました。一方、【ソーシャル課題部門】では、学生が自ら社会の課題を見つけ、それらを解決するビジネスアイデアを自由に考案しました。

今年は兵庫県外の学生たちも参加し、創造力と熱意に満ちたアイデアが日本中から集まりました。審査員や参加者も交えた活発な意見交換が行われ、非常に熱気あふれる場となりました。優秀なアイデアは、2025 年の大阪・関西万博での紹介も視野に入れており、未来のビジネスリーダーたちの活躍が期待されます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

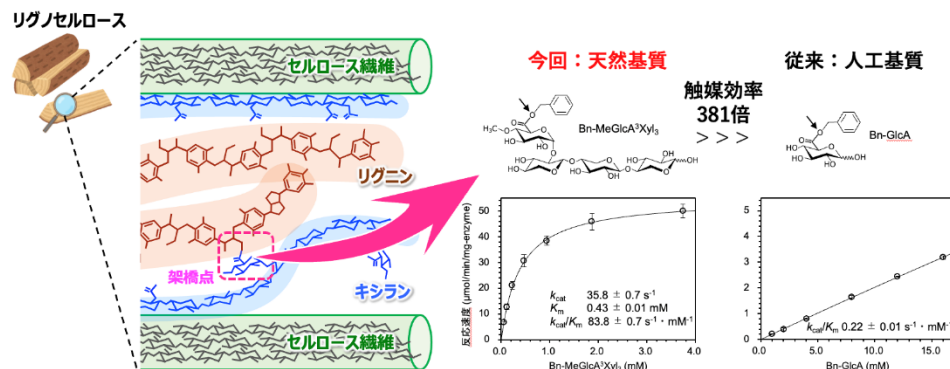
(<https://www.org.kobe-u.ac.jp/hsoi/news/20240913.html>)

【3】研究ニュース

(1) “天然基質”の化学合成法を武器に、リグノセルロース分解酵素の“本質”に迫るー バイオマスリファイナリー革命に向けて ー

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科の高相昊特命助教（研究当初、信州大学大学院総合工学系研究科大学院生）、工藤恒博士研究員、田口精一特命教授、信州大学工学部物質化学科の天野良彦教授、水野正浩准教授、鮫島

正浩特任教授らの研究グループは、地球上で最大の再生可能エネルギー源として注目されているリグノセルロースの複雑な分子構造を再現する“天然基質”の合成に成功し、自然界で生じるリグノセルロースの分解反応を試験管内で再現することで、その反応機構を明らかにしました。今後、リグノセルロース分解利用技術のさらなる高効率化が期待でき、バイオ原料を活かして有用化成品を作る「バイオマスリファイナリー」技術開発の進展に貢献できると考えられます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240918-65986/>)

(2) 妊婦健診で多くの妊娠糖尿病が見落とされている危険性を指摘

神戸大学大学院医学研究科の富本雅子大学院生、谷村憲司特命教授（産科婦人科学分野）らと、廣田勇士准教授（糖尿病・内分泌内科学部門）らの研究グループは、妊娠中期（妊娠 24～28 週）の妊娠糖尿病スクリーニング検査で用いられることが多い随時血糖値測定法を単独で使用すると、多くの妊娠糖尿病が見逃される危険性があることを明らかにしました。今後、随時血糖値測定法ではなく、より検出率の高い 50g 糖負荷試験を積極的に導入していくことで妊娠糖尿病の見落としを減らせることが期待されます。

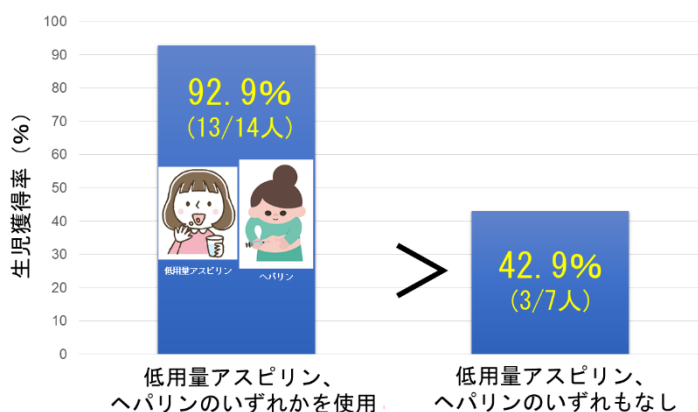


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240918-65971/>)

(3) ネオセルフ抗体が原因不明の不育症の治療に新たな可能性をもたらす

神戸大学大学院医学研究科の谷村憲司特命教授（産科婦人科学分野）、手稲湊仁会病院不育症センターの山田秀人センター長、大阪大学微生物病研究所の荒瀬尚教授らの研究グループは、同グループが 2015 年に発見した血栓症や流産などの原因となる新しい自己抗体（ネオセルフ抗体）が陽性の不育症女性に対して低用量アスピリンとヘパリンを用いた治療を行うと、赤ちゃんが産めた率（生児獲得率）が上昇するだけでなく、妊娠高血圧症候群などの発症率も低下することを世界で初めて見出しました。これまで原因が不明であったために治療法が分からなかった不育症患者に希望をもたらすと考えられます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

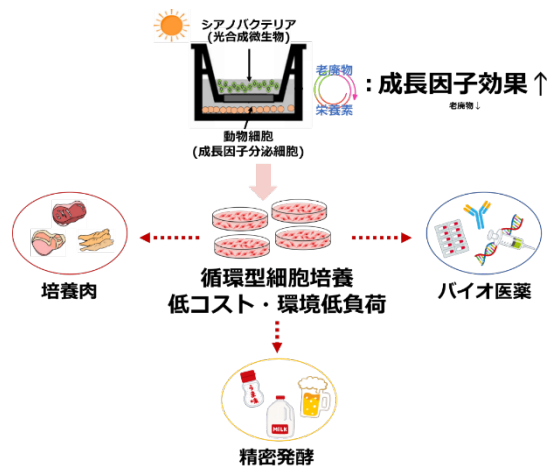
(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240926-65980/>)

(4) 光合成微生物の力でサステナブルな細胞培養を実現

早稲田大学理工学術院の朝日透教授、同大学院先進理工学研究科（一貫制博士課程）の秋尚雅、および東京女子医科大学先端生命医科学研究所の清水達也教授、原口裕次特任准教授の研究グループは、神戸大学先端バイオ工学研究センターの蓮沼誠久教授の研究グループと共同で、自浄作用および栄養循環を果たす食料生産システムを構築するため、光合成微生物を利用した新しい細胞培養システムを開発しました。

近年、持続可能な食肉生産技術として培養肉が注目されていますが、動物血清の使用や老廃物の蓄積および栄養枯渇により、多量の培養液使用とその廃液の発生が課題となっています。本研究では、動物細胞の代謝老廃物（乳酸・アンモニア）を栄養源（ピルビン酸・アミノ酸）に変換する光合成微生物

物のシアノバクテリアを成長因子分泌動物細胞と共培養することにより、動物血清を使用せず、さらに培養液の使用量を削減する低コストで低環境負荷の培養肉生産につながる細胞培養システムを実現しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241002-66095/>)

【4】インタビュー

(1) 初の国際大会 つかんだクラス準優勝

ウインドサーフィン部 里村香奈さん (国際人間科学部4年)

初めて挑んだウインドサーフィンの国際大会で、準優勝に輝きました。国際人間科学部4年の里村香奈さんは、今年7月、ハンガリー・バラトン湖で開催されたテクノクラス世界選手権19歳以上の部で日本チーム女子最高位となり、この1年間休学、部活動に専念し挑んだ執念が大きく結実しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240920-65985/>)

(2) 伝統芸能の道を歩み、部の伝統を守る

神戸大学観世流能楽部 田中 誠士さん（文学部3年）

7月24日、日本3大祭りの一つに数えられる大阪「天神祭」の宵宮。大川に浮かぶ船渡御列の中、水上新能を上演する能船の舞台に田中誠士さんの姿がありました。神戸大学観世流能楽部に所属する田中さん。3歳から能を習い始め、21歳の今、プロの能楽師を目指して稽古に励みます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241003-65999/>)

(3) 社会人としての基盤をつくった学生生活

株式会社ファミリーマート 代表取締役社長 細見研介さん

「海か山かと問われれば、海が好き」と話す細見さん。開放的で自由な雰囲気、海外に向けて港が開かれ、外の文化を積極的に取り入れる神戸の街に惹かれた。そして、なによりも神戸大学にはアメリカンフットボール部「RAVENS」がある。これが大学選びの決め手になったといいます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241003-66019/>)

(4) ワールドマスターズゲームズ関西大会へ強い思い

パリ五輪・パラリンピックが熱戦を繰り広げた 2024 年夏、アメリカ・クリーブランドでは、マスターズスポーツ国際総合大会「北米マスターズゲームズ」(PAMG) が開かれました。神戸大学大学院人間発達環境学研究科の長ヶ原誠教授は、一人のアスリートとして、主催団体・国際マスターズゲームズ協会 (IMGA) 理事として、10 日間の大会に参加、世界のライバルと肩を並べ感動を分かち合いました。2027 年には、「ワールドマスターズゲームズ」

(WMG) 関西大会の開催が迫っています。「スポーツプロモーション」を専門に研究を続け、WMG 関西大会評議員でもある長ヶ原教授に、来る大会開催の意義、生涯スポーツが高齢化社会に果たす役割について聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241004-66080/>)

【5】フィーチャー

(1) 神戸から科学を支える人材をー未来の研究者を育てるー

かつての技術立国・日本がイノベーションで後れをとるようになっていきます。研究者数も論文数も減り、国際競争力は低下する一方です。背景には科学技術イノベーションの基盤となる人材の不足、特に博士課程へ進む学生の減少があります。

2022年に始動した「神戸みらい博士育成道場」は、小・中学生を対象に探究心を引き出す学びを展開。日本の次世代博士人材に必要な「未来を描く力」や「未来を切り拓く力」を育てています。

文部科学省科学技術・学術審議会の資料によれば、日本以外の主要国（米、独、仏、英、中、韓）で博士号取得者は右肩上がりに増えています。日本だけが減少・横ばい傾向。国は科学研究に対する高校生の意欲を育む施策を進めていますが、より早い段階から育成に取り組む必要性が指摘されています。「神戸みらい博士育成道場」のコーディネーターを務める蛸名邦禎神戸大学名誉教授は「サイエンスに取り組んだり、研究者や起業家になったりする精神は、大学に入って突然生まれるものではなく、幼少期から養っていく必要があります」と指摘します。



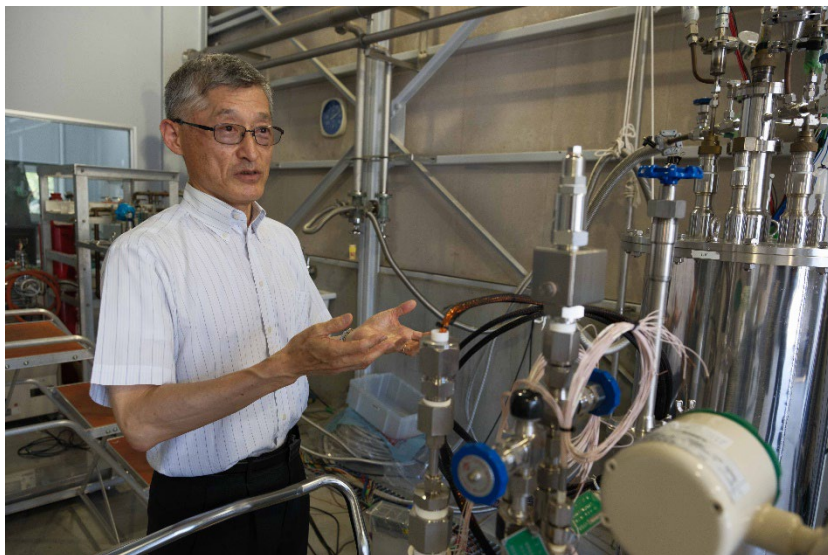
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241003-66003/>)

(2) 超伝導から水素へー研究をつないで未来をつくるー

気候変動の拡大に、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の実現が急がれます。カギを握るのが究極のエネルギー源とも言われる「水素」。燃焼時に二酸化炭素（ CO_2 ）を出さず、さまざまな資源から得られます。神戸大学は2023年11月、「水素・未来エネルギー技術研究センター」を設立しました。将来を見据えた研究に取り組んでいます。

日本は水素研究で世界をリードしてきました。2017年には世界に先駆けて水素基本戦略を策定。水素を新エネルギーの選択肢として示しました。今年5月、水素社会推進法が成立するなど国内における水素活用への期待はますます高まります。だが、水素社会実現に向けて乗り越えるべき学術・技術的、また社会的ハードルはまだ多く残されています。これらを打開し、新しい世界を作る挑戦が、神戸大学深江キャンパスで進んでいます。



武田 実 水素・未来エネルギー技術研究センター教授

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241003-66002/>)

【6】 イベント等情報

(1) イベント等情報

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/events/>)

★神戸大学がラジオ関西で情報発信 「神戸大学☆夢ラボ」

神戸大学が持つ「知」を広く情報発信し、各専門分野の研究者が研究のきっかけや研究成果の社会への影響などをリレー形式で伝えています。

放送は毎週日曜日の午前 8 時 45 分から 15 分間、進行役は神戸大学出身のラジオ関西パーソナリティー天宮 遥さんが務めています。

以下のサイトから、放送当初に遡ってご視聴いただけます。

<https://jocr.jp/programs/site/yumelabo/>

★「KU-Net」からのお知らせ

「神戸大学コミュニティネットワーク(KU-Net)」をリニューアルし公開しております。

従来からの、「OB・OG 訪問」の機能に加え、「卒業生からのメッセージ」や「在学生の今」の掲載をしております。また、卒業生等が開催するイベントへの参加申し込み機能も追加しました。

詳しくは、神戸大学コミュニティネットワークホームページ
(<https://www.office.kobe-u.ac.jp/alumni-net/>)でお知らせしています。

また、KU-Net の説明動画を YouTube にアップしておりますので併せてご覧ください。

<https://youtu.be/ZqHCVW0VsuU>

是非ご登録ください。

★神戸大学校友会ホームページ

<https://www.ku-alumni.kobe-u.ac.jp/>

■支部所属の会員の皆様にもお知らせください

神戸大学校友会事務局

657-8501 神戸市灘区六甲台町 1 - 1

神戸大学企画部卒業生・基金課内

TEL 078-803-5042 FAX 078-803-5024

E-mail: plan-ku-alumni@office.kobe-u.ac.jp